

編集・発行：社団法人教育文化協会

〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台3-2-11 総評会館内

tel 03-5295-5421 fax 03-5295-5422

URL <http://www.rengo-ilec.or.jp>

発行責任者：山本幸司専務理事

新年のご挨拶



理事長 岡部 謙治

明けましておめでとうございます。

旧年中は皆様方大変お世話になり有り難うございました。昨年はリーマンショックに始まる金融危機が世界・日本の経済に大打撃を与え、企業倒産・雇用の悪化などその危機は今なお続いています。

政治においては歴史的な政権交代が実現するなど大きな変化が起きています。

そのような状況のなか教育文化協会も年度当初の企画に新しい情勢分析を加え業務を遂行してまいりました。

昨年を表す漢字として「新」が選ばれました。政権交代や新型インフルエンザの流行などが反映しているとされていますが、応募の中に「薬」なども多かったことに見られるように、現代社会の希望格差・生活難・病氣・犯罪・企業倒産・雇用不安などのやりきれない閉塞感から、なんとか希望の持てる新しい社会へと変わって欲しいとの願いが「新」という字に込められているのではないかと思います。

今年が希望社会への第一歩となって欲しいと願っていますが、政府が昨年11月にデフレ宣言を発したように日本経済の回復は容易でない状況です。様々な経済指標の動きをまとめた昨年10月の景気動向指数は改善の動きを示していますが、12月8日に発表した景気ウォッチャー調査の結果は景気の現状認識を示す指数が急激に落ち込んでおり、景気への不安が強いことを表しています。さらに悪化して二番底が来るのではないかと、との懸念すら強まっています。政治のリーダーシップを強く期待するところです。

さて労働組合の組織率が34年ぶりに上昇しました。厚労省の12月10日発表によると前年比0.4ポイント上がり18.5パーセントとなりました。連合が取り組んできた非正規労働者の処遇改善や組織化の成果が表れつつありますが、一方で全体の雇用労働者数の減少もあります。今後とも、すべての働く者の連帯で安心社会を作っていく取り組みが求められていると言えます。

教育文化協会も教育・出版・文化などの各分野で、いま求められている課題の事業展開を一層充実し進めてまいります。

皆様方のご指導ご支援をお願い申し上げ新年のご挨拶といたします。

<新会員紹介>

2009年10月30日付で下記の2団体に新規加入していただきました。

(一般団体会員) 財団法人 自治労会館

財団法人 地方自治総合研究所

Rengoアカデミー・第9回マスターコースが開講



岡部謙治
教育文化協会理事長



古賀伸明
Rengoアカデミー校長

Rengoアカデミー・第9回マスターコース(前期)を11月21～26日までの日程(受講生25名)で開講しました。開講式では、主催者を代表して岡部謙治理事長が「修了論文の提出まで約1年間にわたる大変な研修だが、第一線の講師陣のもと、集中して学べる貴重な時間である。他の組織の人との交流も含め、積極的な参加をお願いしたい」とエールを送りました。

続いて挨拶にたった古賀伸明Rengoアカデミー校長(連合会長)は、「20周年を迎えた連合を、今後社会のインフラとして不可欠なものとしていくのは、次代を担う皆さんの役割でもある。この機会に、これからの労働運動、組合の役割を考えて欲しい」と呼びかけました。



第9回マスターコース受講生の皆さん

第9回マスターコース・前期プログラム

講義日	科目	講師名
2009年 11. 21 (土)	「ニュー連合の役割・行動Ⅰ」	古賀伸明 連合会長 高木郁朗 I L E C 理事
11. 22 (日)	「アサーティブ・トレーニング」 「労働運動の歴史」	森田汐生 アサーティブジャパン代表理事 高木郁朗 I L E C 理事
11. 23 (月)	「現代福祉論」 「現代社会保障論」	高木郁朗 I L E C 理事 駒村康平 慶応義塾大学教授
11. 24 (火)	「現代日本経済政策論」 「労働法の基礎」	宮崎 徹 帝京平成大学専任講師 野川 忍 明治大学法科大学院教授
11. 25 (水)	「少子高齢時代の暮らしの設計」 「労働組合のための経営財務入門」	堀越栄子 日本女子大学教授 板橋正博 経済経営分析センター代表
11. 26 (木)	「国際比較から見た日本の労使関係」 「現代経済・社会論」 「論文のまとめ方」	田端博邦 東京大学名誉教授 井上定彦 島根県立大学教授 高木郁朗 I L E C 理事



来賓・南雲弘行連合事務局長



「受講生代表」として決意表明する労働金庫連合会・田並理香さん

講義は、「ニュー連合の役割・行動Ⅰ」を皮切りに左記のプログラムで進められました。各講義ではゼミ毎のグループワークを組み入れながら、全体で活発な議論・意見交換を行いました。



アサーティブ・トレーニング(森田汐生先生)



労働運動の歴史(高木郁朗先生)

第15回中小企業経営分析講座（基礎コース）開催

11月15日(日)～16日(月)の2日間、総評会館会議室において、連合・中小労働対策局と共催で、「第15回中小企業経営分析講座(基礎コース)」を開催しました。はじめに、JAM甲信の今井一敏書記長を講師に招き、「なぜ経営分析は必要か」と題し、労働組合としての企業・経営問題への取り組みの事例を報告。中小企業現場からの、雇用合理化問題等の生々しい具体的事例をもとに、経営分析の必要性、労働組合の企業・経営問題への取り組み方等を学びました。続いての講義は、本講座恒例の(株)経済経営分析センターの板橋正博代表による「労働組合のための経営分析」。シミュレーションゲームをとおして経営財務資料の読み方、活用などを学びました。

受講生の皆さん(30名)からは、「経営分析の重要性がよくわかった」「経営分析のポイントがよく理解できた」「現場に戻って、実践してみたい」とご好評をいただき、大変充実した2日間となりました。



恒例のシミュレーションゲームを通じて経営分析のポイントを学習



JAM甲信 今井書記長



経済経営分析センター
板橋代表

第13期女性リーダー養成講座(基礎コース)開催

12月4日(金)～5日(土)の2日間、総評会館会議室において、連合・男女平等局と共催で「第13期女性リーダー養成講座(基礎コース)」を開催しました(今期から基礎コースと応用コースに再編)。今回は会員組織、地方連合会から43名の女性リーダーが参加。実践的な発言力・企画力を身につけるため、トレーニングとグループワークを中心に、2日間にわたり学習しました。今回の講座での学習をいかし、受講生のみなさんが今後ますますご活躍されることを期待したいと思います。



アサーティブ・トレーニング

(森田汐生：アサーティブジャパン代表理事)
組合活動の中で、相手にうまく伝えられずに困っている実際の事例を出し合い、ロールプレイを交え、コミュニケーション方法を学びました。

基礎講座『私と組合活動』

(斉藤千秋：連合中央執行委員・電機連合中央執行委員)
出身組合での初の女性執行委員としての体験、育児と組合活動の両立等について語っていただきました。最後に、「『しなやかに、したたかに』ともにがんばりましょう!」とのメッセージをいただきました。



グループワーク&全体討議

「女性役員をふやすために」をテーマに、5グループにわかれ、ディスカッションをしました。その後の全体討議では各グループの発表と質疑応答・意見交換をおこないました。

受講生のアンケートから

- ◆アサーティブ・トレーニングについて
 - ・組合活動のなかで自分の意見を主張することの難しさを感じていたので、今回の講座をスキルアップにつなげたい。
- ◆基礎講座「私と組合活動」について
 - ・いままで女性で中央執行委員になった人の話を聞いたことがないのでとても参考になった。・斉藤さんの話に勇気とパワーをもらった。
- ◆グループワーク&全体討議について
 - ・どこの組織でも同じ悩みを抱えていることがわかり勇気づけられた。・出身組織で参考にしたい活動が見つかった。
 - ・「女性の意識改革が必要である」点についての認識の共有化ができてよかった。

～ 専門講座 これからの開催予定 ～

各講座の開催につきましては、詳細が決まり次第、アットマークれんごうおよびILECホームページを通じてご案内しています。多数のご参加をお待ちしています。

日 程	講 座 名	申込み締め切り	場所
1月22日(金)～23日(土)	第13期女性リーダー養成講座／応用コース	1月15日(金)	東京
2月17日(水)～18日(木)	第4回労働法講座／基礎コース	2月3日(水)	東京
2010年上期2日間(予定)	第8回社会保障講座／基礎コース	詳細が決まり次第募集開始	未定

『連合運動史 第4巻』ただいま編纂中です

『連合運動史』は5年ごとに刊行しており、これまで第1～第3巻まで発刊しています。このたび、第4巻の発刊(対象期間：2004年10月～2009年9月)を連合から受託し、現在編集作業を行っています。第4巻は、2010年10月の第58回連合中央委員会を目途に刊行する予定です。

書籍紹介 連合新書16 労働組合必携シリーズⅠ



壁を壊す

中村圭介著・連合総研編・教育文化協会発行
発売元 第一書林 定価700円(税別)

高木剛 連合前会長／前Rengoアカデミー校長 推薦！

正規・非正規労働者、両者の「壁」をいかに壊していくか。

分断から連帯・共感へ。非正規労働者の組織化の生きた戦略を学んでほしい。



新書版 192頁

連合新書17

『共助と連帯—労働者自主福祉の課題と展望—』 1月末発刊予定

高木郁朗編 教育文化協会発行 発売元 第一書林 定価1,905円(税別)

古賀伸明 連合会長／Rengoアカデミー校長 推薦！

ひとひとが支え合う「ぬくもり」のある社会の再生を。

「地域にひらかれた支え合いシステム」としての労働者自主福祉の新たな役割に光をあてた本書を推薦します。

1月4日、(株)経済経営分析センターの板橋正博代表が急逝されました。板橋先生には、中小企業経営分析講座をはじめRengoアカデミー・マスターコースの講師として、長年にわたり大変お世話になりました。ここに、ご生前のご厚情に深く感謝し、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

編集後記

また新しい一年が始まりました。働くものにとって取り巻く環境は非常に厳しいですが、こうした時代だからこそ、人と人が支え合い、つながり合うことで、様々な困難を乗り越える知恵と力が生まれ、希望が見えてくるのではないのでしょうか。一人ひとりの力を確かなものにするため、今年もILECは教育・文化・出版の各事業を通じてお手伝いいたします。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

この印刷物は再生紙を使用しています。